

# 東南ヨーロッパ日本研究ジャーナル

## 論文募集のお知らせ

東南ヨーロッパ日本研究ジャーナル（以下、SEEJJS）は、サラエボ日本研究学会がサラエボ大学政治学部と共同で発行する査読付き年刊学術誌です。

SEEJJSは、東南ヨーロッパにおいて、日本の社会、芸術、文化、歴史、政治に関する学知を蓄積することを目的としています。そのため、日本研究の分野における幅広いトピックについて最先端の研究を提供するよう努め、英語と日本語による論文の投稿を受け付けます。とくに比較的・多元的視点に立つものや、批判的アプローチから執筆された論文の投稿を歓迎します。

SEEJJSは、東南ヨーロッパで日本研究に従事する常勤教員、若手博士研究員、博士課程在籍者による質の高い論文の投稿を期待します。また、SEEJJSは世代や専門分野を超えて、東南ヨーロッパの日本研究者が連携するためのプラットフォームを構築することを目指します。

## 投稿規定

### 1. 原稿の提出手順

- a) 英語または日本語による匿名原稿を電子ファイルで作成の上、  
2020年9月30日17:00（中央ヨーロッパ時間）までに、Eメールアドレス [sarajevo@japaneseudies.org.ba](mailto:sarajevo@japaneseudies.org.ba) 宛に、添付書類とあわせて提出すること。
- b) 編集委員会は、提出された原稿を審査し、2020年10月末までに以下カテゴリーのうちいずれかの通知を行う。
  - (A) 投稿論文のまま掲載可
  - (B) 修正を条件として掲載可
  - (C) 掲載不可
- c) カテゴリー（B）に該当する場合、編集委員会は原稿の修正を提案し、著者に返却する。著者は提案を考慮に入れて原稿を修正し、再提出の期限内にネイティブスピーカーによる校正済みの原稿を返送すること。
- d) 著者はショートサマリー（英語の場合は約100ワード、日本語の場合は約200文字）を提出すること。

## 2. 原稿様式

- a) 原稿はダブルスペースで入力し、脚注を含めて8,000ワード（日本語の場合16,000文字）を超えないこと。また、表、地図、写真を使用する場合、文字数を減らすこと。書評論文については2,000～4,000ワード（日本語の場合4,000～8,000文字）、書評については500～1,000ワード（日本語の場合1,000～2,000文字）とすること。書評対象は編集委員会が選定するが、書評の投稿も受け付ける。
- b) スタイルガイドについては、原則としてシカゴスタイルマニュアルの最新版（シカゴ：シカゴ大学出版局）を参照すること。原稿全体で統一したスタイルを使用すること。
- c) 注は、本文テキストに続けて文末脚注としてダブルスペースで入力すること。
- d) 著者名は、別紙表紙の原稿タイトルの下に、姓、名の順で記載すること。著者の所属（大学、研究所等）の正式名称、所在地、電子メール、電話番号も記載すること。
- e) 原稿はいくつかのセクションに分割し、各セクションの冒頭にローマ数字または見出し（またはその組み合わせ）を付けることが望ましい。
- f) 表、地図、写真などは別途電子ファイルで提出すること。キャプションは各図の下に簡潔に記述すること。原稿のどこに挿入するか明確に示すこと。

## 3. その他の事項

- a) 原稿は未発表のものであること。編集委員会の受理可否の通知を受け取るまで他のジャーナルに投稿しないこと。一年以内に刊行予定の書籍の一部ではないこと。著者はこれらを明記した署名付き文書を提出すること。
- b) 著者には、抜き刷り25部とSEEJJS2部が送られる。
- c) 提出された資料は返却しない。
- d) 謝辞は最小限に抑えること。原稿を作成するにあたり受けた資金的・その他の支援（例：図書館や各機関）への謝辞のみを認める。
- e) SEEJSSで発行された論文・書評の著作権は、サラエボ大学とサラエボ日本研究学会に帰属する。著者がこれらを他のメディアで再発行しようとする場合、または自身の書籍に含めようとする場合は、編集委員会の許可を得ること。SEEJJSで公開された論文は、SEEJJSのウェブサイトにて同時公開される。